

第4問 (20点)

解答

<u>製造原価報告書</u>		(単位：万円)
I 直接材料費		(30,800)
II 直接労務費		(26,180)
III 製造間接費		(23,290)
合 計		(80,270)
製造間接費配賦差異	[-]	(1,290)
当期総製造費用		(78,980)
期首仕掛品棚卸高		(6,500)
合 計		(85,480)
期末仕掛品棚卸高		(7,100)
当期製品製造原価		(78,380)

<u>損益計算書</u>		(単位：万円)
I 売上高		89,640
II 売上原価		
期首製品棚卸高	(3,300)	
当期製品製造原価	(78,380)	
合 計	(81,680)	
期末製品棚卸高	(3,600)	
差 引	(78,080)	
原 価 差 異 [+]	(1,290)	(79,370)
売上総利益		(10,270)
III 販売費および一般管理費		(9,210)
営業利益		(1,060)

※ [] 内には「+」または「-」を記入すること。

1つにつき各4点、
合計20点

解説

製造原価報告書および損益計算書を作成する問題です。

はじめに原価を製造原価（材料費、労務費、経費）と販売費および一般管理費に分類し、製造原価をさらに製造直接費と製造間接費に分類します。

1 原価の分類

資料の原価を分類すると次のとおりです。

製造原価	材料費	直接材料費	1. 素材費
		間接材料費	1. 補助材料費 7. 消耗工具器具備品費
	労務費	直接労務費	2. 直接工の賃金
		間接労務費	3. 間接工の賃金 6. 工場事務員の給料
	経費	直接経費	—
		間接経費	8. 工場固定資産税 9. 工場電力料、水道料、ガス代 10. 工場建物減価償却費
販売費および一般管理費			4. 本社建物減価償却費 5. 販売員給料 11. 本社役員給料 13. その他販売費 14. その他一般管理費

2 金額の計算

(1) 直接材料費

$$1. \text{ 素材費} : 4,000\text{万円} + 31,600\text{万円} - 4,800\text{万円} = 30,800\text{万円}$$

(2) 間接材料費 → 製造間接費実際発生額

$$1. \text{ 補助材料費} \dots\dots\dots 360\text{万円} + 4,300\text{万円} - 400\text{万円} = 4,260\text{万円}$$

$$7. \text{ 消耗工具器具備品費} \dots\dots\dots \underline{310\text{万円}}$$

$$\underline{4,570\text{万円}}$$

(3) 直接労務費

$$2. \text{ 直接工の賃金} : 26,200\text{万円} + 580\text{万円} - 600\text{万円} = 26,180\text{万円}$$

(4) 間接労務費 → 製造間接費実際発生額

3. 間接工の賃金	14,500万円 + 220万円 - 250万円 = 14,470万円
6. 工場事務員の給料	1,650万円
	<u>16,120万円</u>

(5) 間接経費 → 製造間接費実際発生額

8. 工場固定資産税	100万円
9. 工場電力料、水道料、ガス代	1,100万円
10. 工場建物減価償却費	1,400万円
	<u>2,600万円</u>

(6) 販売費および一般管理費 → 損益計算書

4. 本社建物減価償却費	1,200万円
5. 販売員給料	2,300万円
11. 本社役員給料	2,400万円
13. その他販売費	1,420万円
14. その他一般管理費	1,890万円
	<u>9,210万円</u>

3 製造間接費の配賦

製造原価報告書上では製造間接費を実際発生額で記入したあと、製造間接費配賦差異を加減して最終的に予定配賦額が計上されるように調整します。

そして、損益計算書上で製造間接費配賦差異を売上原価に加減します。

具体的には、不利差異（借方差異）なら売上原価に加算し、有利差異（貸方差異）なら売上原価から減算します。

(1) 製造間接費予定配賦額

22,000万円

(2) 製造間接費実際発生額

$\frac{4,570}{\text{間接材料費}} + \frac{16,120}{\text{間接労務費}} + \frac{2,600}{\text{間接経費}} = 23,290$ 万円

(3) 製造間接費配賦差異

22,000万円 - 23,290万円 = △1,290万円 (不利差異・借方差異)

→ 製造原価報告書からは減算、損益計算書の売上原価には加算

<u>製造原価報告書</u>		(単位：万円)
I 直接材料費		(30,800)
II 直接労務費		(26,180)
III 製造間接費		(23,290)
合計		(80,270)
製造間接費配賦差異	有利差異なら「+」 不利差異なら「-」	(1,290)
当期総製造費用	直接材料費：30,800万円 直接労務費：26,180万円 製造間接費：22,000万円 (予定配賦額) 78,980万円	(78,980)
期首仕掛品棚卸高		(6,500)
合計		(85,480)
期末仕掛品棚卸高		(7,100)
当期製品製造原価		(78,380)

<u>損益計算書</u>		(単位：万円)
I 売上高		89,640
II 売上原価		
期首製品棚卸高	(3,300)	
当期製品製造原価	(78,380)	
合計	(81,680)	
期末製品棚卸高	(3,600)	
差引	(78,080)	
原価差異	[+] (1,290)	(79,370)
売上総利益		(10,270)
III 販売費および一般管理費	有利差異なら「-」 不利差異なら「+」	(9,210)
営業利益		(1,060)